



皮膚科



診療科の特色

当診療科はアトピー性皮膚炎や蕁麻疹、皮膚真菌症（みずむし・たむし・カンジダ症など）の一般的疾患から薬疹、自己免疫性水疱症などの重症化する全身性疾患の正確な診断から治療までを行います。带状疱疹や蜂窩織炎、丹毒、壊死性筋膜炎、薬剤性過敏症候群などの重症薬疹についても初期対応し、当院または近隣の大学病院と連携して治療いたします。日光角化症やボーエン病、有棘細胞癌（初期）については積極的に組織検査を行い当科での治療が可能です。悪性黒色腫やパジェット病については正確な診断を行いがんセンターや大学病院と連携して治療や経過観察を行います。このように急性、慢性、救急などあらゆる皮膚疾患に対して診察し、正確に診断を行い、ガイドラインに準拠した治療を行います。また、専門施設と緊密に連携して治療や経過観察、外来診療を行うのが特徴です。生物学的製剤によるアトピー性皮膚炎、乾癬、化膿性汗腺炎などの治療は一部行っておりますが、初回導入は原則として大学病院と連携をとりつつ行っております。円形脱毛症については外用治療のほか、入院の上、3日間のステロイドセミパルス治療を行うことがあります。乾癬や尋常性白斑の紫外線治療は照射機器がありませんので行っていません。陥入爪についてはテーピング指導で最初の治療を行いますが、ワイヤー法やガター法などは専門施設を紹介します。

昨年度総括

昨年度は平野科長のほか、東京医大2名のレジデントにより、皮膚科の診療体制が維持されました。病院の入院、外来患者、診療依頼に積極的に対応しております。

今年度の取組（診療体制）

平野科長および2名の専攻医が一斉に交代になったため、新しい体制、チームとなりました。さらにパワーアップしていきたいと考えております。慢性疾患については、今までの診断、治療、方針を確認し、正確な診断とEBM(理論的根拠)に基づいた治療を実践することを心がけたいと考えております。病院同志の連携も充実させ、大学病院からの転院も受け入れを行ってまいります。急増する外来患者に対応するために緊急性のない予約外患者は別日の予約枠を充実させて、そちらに振り分けていただき、毎日の高度な診療体制を確立させたいと考えております。

その他

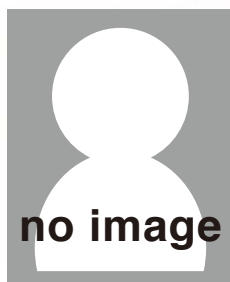
病状が落ち着いた場合には積極的に近隣開業医の先生に逆紹介をし、当科の専門性ある治療を維持してまいります。外来患者数の増加がみこまれるため、今後は緊急性のないと判断される予約外患者は翌日以降の予約をとっていただくようお願いいたします。



皮膚科



医師紹介



科長
出光 俊郎 (でみつ としお)

[取得資格等]
・日本皮膚科学会 皮膚科専門医

医員
藤森 一希
(ふじもり かずき)



医員
吉田 雅絵
(よしだ まさえ)



[取得資格等]
・厚生労働省
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

外来担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
皮膚科	午前	出光・藤森	出光・吉田	吉田	木曜担当医 出光	出光・内山	土曜担当医 第1・3・5週 藤森 第2・4週 吉田
	午後	吉田	藤森	藤森	神崎	塩野谷	

ご依頼・お問い合わせ

病診連携係へのご連絡 予約直通 **048-773-5941**
当日緊急受診相談 **048-612-1444**

〈病診連携係対応時間〉 平日8:30 ~17:30 / 土曜日8:30~13:00